

各位

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

平成 19 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2007年8月9日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク(米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一)は、当社の最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 16 日(金)に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期通期業績予想数値(平成 19 年 1 月 1 日~平成 19 年 12 月 31 日)

(金額の単位: 米ドル)

	営業収益	営業損失	当期純損失
前回発表予想 (A)	-	65,414,000	60,924,000
今回修正予想 (B)	-	62,196,000	57,795,000
増減額(B-A)	-	3,218,000	3,129,000
増減率(%)	-	4.9%	5.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	263,877	41,677,533	35,689,611

2. 修正の理由

平成 19 年 6 月 26 日開示の開発プログラムに関する新方針の実施にともない、MN-001(気管支喘息治療薬)のフェーズ 3 臨床試験を一旦停止し、MN-221(喘息の急性発作治療薬)及び MN-166(多発性硬化症治療薬)を中心として経営資源を集中していくこととなりました。こうした資源の再配分の影響を精査した結果、MN-001(気管支喘息治療薬)のフェーズ 3 臨床試験費用の減少を主な要因として、営業損失及び当期純損失の通期予想数値を上記のように修正いたします。

なお、平成 19 年 12 月期通期の広義の現金の増減は約 39 百万ドルの減少と予想され、平成 19 年 12 月 31 日現在の広義の現金残高は約 65 百万ドルとなる予想です。

広義の現金とは、現金及び現金同等物に売却可能有価証券を加えたものを指します。

以上

メディシノバ・インクは様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の長期的な成長の見込みが含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、共同研究候補機関の市場における影響力、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現される、あるいは、示唆されるものと大きく異なることがあります。